

戦 評 用 紙

平成26年度関東高等学校バスケットボール大会

埼玉県予選会

平成26年5月17日

会 場 越谷市総合体育館

Eコート第 1 試合

対 戦	山村学園 高校	2 2	—	1 5	児玉 高校
		2 0	—	1 1	
	9 3	2 9	—	2 1	6 4
		2 2	—	1 7	

第1 P、両チームともにハーフコートマンツーマンで試合が始まる。児玉#4のシュートでゲームが動き出す。一方の山村も#5のシュートで応戦。児玉は#4や#5の3pなどで着実に得点を重ねていく。山村も#5や#4の3pで得点を重ね一進一退の攻防が続く。残り3分、ここで児玉#6が負傷退場のアクシデント。流れが一気に山村に傾く。ここで児玉はたまたまタイムアウト。しかし、流れは変わらず、22対15山村リードで終了。

第2 P、流れを呼び戻したい児玉は、ディフェンスをゾーンに変える。しかし、山村は慌てることなく#12や#13のシュートで得点を重ねていく。児玉も#5の3pなどで得点するが、優位に試合運びをする山村が42対26とリードを広げ前半終了。

第3 P、児玉はディフェンスを再びマンツーマンに変える。しかし山村は#10が連続3ゴールを挙げるなど攻撃の手を緩めない。児玉も#4の3pなどで得点するがなかなか点差は縮まらない。児玉は再びディフェンスをゾーンにシフト。しかし山村の優位は変わらず71対47で終了。

第4 P、児玉は#5の3pや#10のシュートで必死の反撃を試みるが、山村は慌てることなく#10や#5のシュートで得点を重ねる。ここで山村はベンチメンバーにシフト。最後まで諦めることなく戦いを挑んだ児玉ではあったが山村の勢いを止めるまだには至らず93対64で山村が勝利し、決勝へ駒を進めた。

(記録者：八潮高校 高校 荒井 浩)